

《Lesson 3》 助動詞の would のその他の使い方

助動詞 would には「will の過去形」以外にも様々な使い方がありますので、今回はそのうちの2つを紹介していきます。

(1) will よりも弱い「推量」

- ・「(たぶん・おそらく) ~でしょう」という will よりも控えめで丁寧な言い方。
- ・ will よりも確信がない時に使う。
- ・「私なら~でしょう」のように、自分の意見をやわらかく伝える時にも使われる。

<例> This would be the most cheapest computer in the store.

(これが、たぶんこのお店で一番安いパソコンでしょう)

I would say he is not as smart as you.

(私なら、彼はあなたほど賢くないというでしょう)

ポイント！「控えめな断り」を表すことも可能

would は、it △△ for ○○ to □□ の文や主語が動名詞フレーズの時に使うことで「おそらく□□することは△△でしょう」といった「控えめな断り」を表すこともできます。これは、ビジネスなどのフォーマルな場ではよく使われる表現です。

<例> It would be difficult for us to make it smaller.

<私たちにとって、これを更に小さくするのはおそらく難しいでしょう>

(真意は……) → これ以上は小さくできません。

Taking this home without a car would be impossible.

<車ぬきで、これを家に持って帰るのはおそらく不可能でしょう>

(真意は……) → 車ぬきでこれを家に持って帰るのは不可能です。

(2) 丁寧な依頼 (Would you ~?)

- ・ **Would you ~?**で「~していただけますか」という意味になる。
- ・ Can you ~? よりも丁寧な依頼を表す (Could you ~? と同じ使い方)
- ・ 答える時は、Yes, ○○ would. / No, ○○ wouldn't. といった形ではなく、Yes の場合は Sure. / Of course. などを使い、No の場合は、I'm sorry, but I can't. といった表現を使う。

<例> Would you come here this afternoon?

(この午後、ここに来ていただけますか)

Would you close the window?

(窓を閉めていただけますか)

(3) 丁寧な願望 (would like to)

- **would like to** で「～したいと思います」という意味になる。
- want to の丁寧な言い方とよく言われる。
- I would like to の形では、I と would の短縮形の **I'd** もよく使われる (**I'd like to**) 。
- 「〇〇に～していただきたい」という場合は、**would like 〇〇 to** の形になる。

<例> I would like to go to Kyoto.

(私は京都に行きたいです)

I would like you to do this every day.

(私は毎日これをあなたにしてもらいたいです)